

出展レポート

『第4回おおた研究開発フェア』に出展しました！

10/2(木)・3(金)

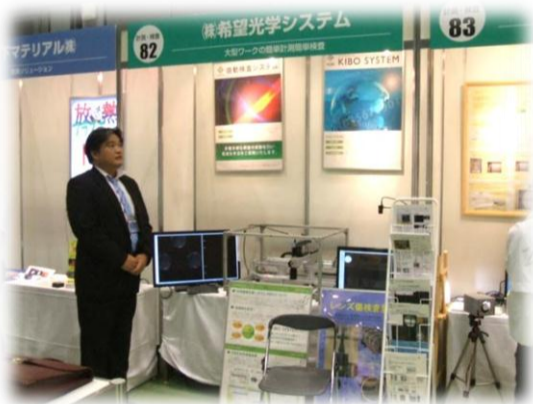
東京都大田区、公益財団法人大田区産業振興協会の主催による「第4回おおた研究・開発フェア」が10月2日～3日、大田区の産業プラザPiOで行われました。大田区は多くの企業が集積しており、産学連携を目的にして、「未来の研究開発の花を咲かせましょう」というテーマのもとに企業、大学、研究機関96組織が出展しました（来場者は、初日697名、2日目1,129名：合計1,826名）。特徴的なのは、大田区に多い機械・装置や加工技術以外にロボット技術、環境技術、医療ヘルスケア、IT・システム開発など多岐に亘る分野の製品や技術が展示されていたこと、半数強は大学、研究機関(米国、台湾を含む)であったことです。画像、レーザー、3Dプリンター等で当施設に関連する技術も展示されていました。

入居企業では、207号室の(株)希望光学システムさんと211号室の(株)分光応用技術研究所さんが出展して見学者を集めていました。



出展者の声

(株)希望光学システム



検査装置開発受注のために出展しました。
①多用途寸法検査システム、②レンズ傷検査装置を展示し、少数ですがお問い合わせがありました。受注につながるかどうかは未定ですが、浜松近辺よりも東京近郊の展示会は来客が多いので手ごたえを感じました。
パンフレットが早めになくなったので、多めに準備しておけば、受注のチャンスを多く得られただろうと思われれます。

〔伊藤社長談〕

(株)分光応用技術研究所



自社及び自社製品のPRのために出展しました。分光イメージングユニット分光イメージングユニット (Spect200vis)、小型分光イメージングユニット (Spect100vis)、分光イメージングカメラ (Spect-CAM-100vis)、フィルタ式分光イメージング装置 (SpectLF16) 等を展示しました。
可視域のアプリ：2次元上のメタマー（条件等色対）判別（同色に見えても、ある分光分布を有する光源下のみで色が合致しているものに対し、ソフト上で光源の特性等を変える事により、違う色材（顔料、染料）の判別が可能）について興味を持ってくれる人が多かったです。

〔松本社長談〕